

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月12日

上場取引所 大

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-3520-0066

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,008	81.9	128	123.4	125	128.6	125	165.9
23年5月期第2四半期	554	42.0	57	—	54	—	47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	2,274.68	2,211.97
23年5月期第2四半期	857.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,746	1,442	82.4
23年5月期	1,895	1,332	70.2

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 1,438百万円 23年5月期 1,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	450.00	450.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	450.00	450.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,365	12.6	89	0.0	87	3.3	86	△34.5	1,573.97

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	58,429 株	23年5月期	58,079 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	3,098 株	23年5月期	3,098 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	55,024 株	23年5月期2Q	54,879 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後のサプライチェーン毀損による供給制約から復旧しつつあり、一部に持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務危機や米国の景気低迷に端を発する世界経済に対する先行き不安要素があまりにも強く、歴史的長期円高や株価低迷など、国内においても再び景気の減速が懸念される状況にあります。

このような環境の下、当社は引き続き徹底したコスト管理のもと高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりました。

当期間は、前年同期間と変わらず14回のオークションを開催しましたが、主力の近代美術オークション、近代陶芸オークションで取扱高が減少しております。しかしながら、当社は前事業年度後半から引き続き、東日本大震災の影響によるオークション出品点数の減少を想定し、当期間においても在庫商品のオークション出品及びプライベートセールでの販売に注力してまいりました。その結果、売上高、商品売上高が大きく増加いたしました。併せて利益面におきましても当初予想を大きく上回ることができました。

当第2四半期累計期間は、取扱高2,146,920千円（前年同期間比15.5%減）、売上高1,008,311千円（前年同期間比81.9%増、内商品売上高705,064千円（前年同期間比509.7%増））、利益面におきましては、経常利益125,342千円（前年同期間比128.6%増）、四半期純利益125,162千円（前年同期間比165.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

近代美術オークション部門の取扱高は、847,280千円（前年同期間比46.9%減）、売上高は、192,501千円（前年同期間比36.2%減、内商品売上高38,628千円（前年同期間比120.0%増））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

近代陶芸オークション部門の取扱高は、93,870千円（前年同期間比28.3%減）、売上高は、24,419千円（前年同期間比27.9%減、内商品売上高3,114千円（前年同期間比29.1%減））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

近代美術PartⅡオークション部門の取扱高は、148,350千円（前年同期間比0.1%減）、売上高は36,182千円（前年同期間比6.0%減、内商品売上高688千円（前年同期間比77.9%減））となりました。出品点数の減少はあったものの落札単価微増となり、前年同期間と横ばいの実績となりました。

その他オークション部門の取扱高は、352,080千円（前年同期間比0.8%減）、売上高は、124,044千円（前年同期間比77.3%増、内商品売上高54,242千円（前年同期間は447千円））となりました。前年同期間と比較して取扱高はほぼ横ばいでしたが、主に西洋美術オークションにおける在庫商品の売上高の増加（52,995千円、前年同期間は257千円）が利益に大きく貢献いたしました。

プライベートセールにおきましては、取扱高は、478,288千円（前年同期間比456.2%増）、売上高は、451,410千円（前年同期間比448.9%増、内商品売上高450,750千円（前年同期間比450.4%増））と、取扱高、売上高ともに前年同期間に比べて大幅な増加となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,691,033千円となり、前事業年度末に比べ143,562千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の増加487,299千円と商品の減少436,806千円及び前渡金の減少198,791千円によるものであります。固定資産は55,784千円となり、前事業年度末に比べ5,312千円減少いたしました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少によるものであります。

この結果、総資産は、1,746,817千円となり、前事業年度末に比べ148,875千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は278,147千円となり、前事業年度末に比べ259,610千円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少440,000千円とオークション未払金の増加165,162千円によるものであります。固定負債は26,550千円となり、前事業年度末に比べ1,400千円増加いたしました。これは退職給付引当金の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、304,697千円となり、前事業年度末に比べ258,210千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,442,119千円となり、前事業年度末に比べ109,334千円増加いたしました。これは主に四半期純利益による増加125,162千円及び剰余金の配当による減少24,741千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は82.4%（前事業年度末は70.2%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点で平成23年11月21日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	458,872	946,172
売掛金	51,752	55,833
オークション未収入金	15,120	103,008
商品	687,348	250,542
前渡金	472,869	274,077
その他	148,739	61,643
貸倒引当金	△108	△245
流動資産合計	1,834,596	1,691,033
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,232	10,873
車両運搬具(純額)	1,139	728
工具、器具及び備品(純額)	2,648	2,176
有形固定資産合計	19,020	13,779
投資その他の資産		
その他	73,284	73,132
貸倒引当金	△31,207	△31,127
投資その他の資産合計	42,076	42,004
固定資産合計	61,097	55,784
資産合計	1,895,693	1,746,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	559	2,149
オークション未払金	3,174	168,337
短期借入金	440,000	—
未払法人税等	3,939	3,070
賞与引当金	17,179	16,501
役員賞与引当金	18,292	15,096
その他	54,613	72,994
流動負債合計	537,758	278,147
固定負債		
退職給付引当金	25,150	26,550
固定負債合計	25,150	26,550
負債合計	562,908	304,697

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,317	785,155
資本剰余金	386,067	389,905
利益剰余金	250,909	351,329
自己株式	△87,856	△87,856
株主資本合計	1,330,438	1,438,533
新株予約権	2,346	3,586
純資産合計	1,332,785	1,442,119
負債純資産合計	1,895,693	1,746,817

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	554,350	1,008,311
売上原価	206,522	541,330
売上総利益	347,828	466,980
販売費及び一般管理費	290,445	338,781
営業利益	57,383	128,198
営業外収益		
受取利息	256	112
受取保険金	695	1,474
受取査定報酬	109	—
受取保管料	1,011	—
その他	307	264
営業外収益合計	2,381	1,852
営業外費用		
支払利息	1,426	901
為替差損	3,274	3,711
その他	227	95
営業外費用合計	4,928	4,708
経常利益	54,835	125,342
特別利益		
貸倒引当金戻入額	245	—
新株予約権戻入益	722	—
未払配当金戻入益	561	500
特別利益合計	1,528	500
特別損失		
固定資産売却損	510	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,225	—
特別損失合計	8,735	—
税引前四半期純利益	47,628	125,842
法人税、住民税及び事業税	562	680
法人税等合計	562	680
四半期純利益	47,066	125,162

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社は、主に美術品を対象としたオークション運営事業を行っており、生産実績の記載はしていません。

②受注実績

当社は、受注生産を行っておりませんので、受注実績の記載はしていません。

③販売実績

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)							
	取扱高 (千円)	前年同 期間比 (%)	売上高 (千円)	前年同 期間比 (%)	オークション 開催数 (回)	オークション 出品数 (点)	オークション 落札数 (点)	落札率 (%)
近代美術オークション	847,280	△46.9	192,501	△36.2	3	390	342	87.7
近代陶芸オークション	93,870	△28.3	24,419	△27.9	2	376	318	84.6
近代美術Part II オークション	148,350	△0.1	36,182	△6.0	3	796	764	96.0
その他オークション (注) 1	352,080	△0.8	124,044	77.3	6	1,568	1,350	86.1
オークション事業合計	1,441,580	△35.4	377,148	△15.1	14	3,130	2,774	88.6
プライベートセール	478,288	456.2	451,410	448.9				
その他	227,052	0.6	179,751	541.2				
その他事業合計	705,340	126.3	631,162	472.4				
合計	2,146,920	△15.5	1,008,311	81.9				

(注) 1. その他オークションの開催については、募集の状況により随時開催しております。当第2四半期累計期間(平成23年6月1日～平成23年11月30日)は、Bags/Jewellery&Watchesオークション2回、西洋美術オークション1回、ワインオークション1回、長谷川利行コレクション1回、浮世絵オークション1回を開催しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。